

# とおちっ子

十市小学校だより第24号

令和6年10月31日

文責 藤川 尚司

10月も終わりを迎え、朝晩が涼しくなりました。平年よりも気温は高めとのことですが、ようやく過ごしやすい季節を迎えることができました。季節の変わり目は体調も変化しがちです。「早寝、早起き、朝ごはん」を励行して、体調管理に気を付けましょう。

## 修学旅行

10月24日(木)から26日(土)に6年生が修学旅行に行ってきました。

修学旅行に先立って、23日(水)に行った朝の集会で、6年生が全校に「行ってきます」のあいさつをし、広島で行う平和集会で合唱する歌「折り鶴」を披露しました。世界の平和を願う歌を、6年生は心を込めて歌って紹介してくれました。



広島平和記念公園を訪ねた6年生は、たくさんの公園の訪問者に見守られながら平和集会を開き、平和への祈りを込めて「折り鶴」を歌いました。その集会は実に感動的で、6年生が歌い上げる声に心を打たれました。平和集会を参観していた、海外から来られてたと思われる方々も含めて、多くの聴衆が真摯な祈りの歌に耳を傾けていました。そして、平和集会の終わりには、6年生があたたかな拍手に包まれていました。学校での平和学習の成果を見事に披露した6年生を大いにたたえたいと思います。

修学旅行団は1日目と2日目に、そのほかマツダミュージアムやJFEスチール工場などをめぐり、各所で滞りなく予定していた学習を終えました。日常生活ではなかなか学ぶことができないお話を聞いたり、施設を見学したりしてとても充実した時間を過ごすことができました。

最終日は締めくくりのレオマワールド。6年生は思い思いに楽しんでいました。園内の様々なアトラクションを余すところなく体験したのではないかと思います。

今回の修学旅行に際して、1年生からはてるてる坊主のプレゼントをもらいました。おかげで天候にも恵まれ、順調に日程を終えることができ、所期の

目的を十分に果たすことができました。期間中、集団での生活をどのように送るかということに心を配り、考えて行動する6年生の姿があったからこそその成果だと受け止めています。きっとそれぞれの心に残る修学旅行となったことでしょう。

修学旅行はこれまでの学校生活で身につけた力を発揮するとともに、残された小学校生活でより磨くべき課題を見つけるための学習機会です。6年生には、修学旅行で一回り成長した成果を発揮して、あと半年足らずとなった小学校生活で、十市小学校のよき歴史と伝統を残してもらうことを期待しています。



## お米の学習

10月23日(水)に、5年生が

本年度取り組んでいるお米の学習にお力をお借りしている地域の山本歴史さんをお招きして、お米づくりに関わるお話をいただきました。

5年生があらかじめお伝えしていた質問について、山本さんからいぬいにご説明いただきました。中にはお米作りに対して山本さんがどんな願いや思いを持っているのかという趣旨の質問もありました。山本さんからは、毎日の食事には食材をつくる人や調理をする人などたくさんの方がかかわっていることを忘れず、感謝の気持ちをもって食べてほしい、という生産者ならではのお気持ちに沿ったお話をいただきました。

我々はいづい食べ物に向こう側にいる方の存在を忘れがちです。あらためて、食への感謝の気持ちをもつことの大切さを考える機会になりました。山本さん、大切なお話をありがとうございました。

